

# 先輩社員に聞く電気工事の魅力



## 菊池 祐弥

京浜電設株式会社  
工事部

2013年3月卒業 同年4月入社  
出身校 日本電子専門学校

### ――就職活動はどのような形で行いましたか？

菊池 自分自身の就職先に対する希望を担当の先生に伝え、数社の電気工事会社を選んでもらい、その中から選択しようと考えていました。

### ――企業を選ぶ上で、何か基準となるようなものがありましたか？

菊池 さまざまな仕事を体験できる会社が理想でした。職種であれば営業、技能者、技術者などがありますし、得意先も一つではなく、多くの得意先を持っている会社であれば、いろいろなことを経験でき、可能性が広がると感じたからです。

### ――京浜電設に入社した動機を教えてください。

菊池 最初に会社説明会へ行ったのが京浜電設でした。その際、担当者から仕事の内容や、会社のビジョンなどを話していただきました。話を聞いて、京浜電設では多くの職種を経験できることが分かり、将来についても共感する部分が多かったので、入社したいという気持ちが強くなったことを覚えています。

### ――現在はどのような仕事を担当されていますか？

菊池 区役所の電気設備改修工事で一つの建物の担当所員として作業をしています。実はこれまでも限られた作業範囲で現場代理人をしていたのですが、施主や元請、職人など建設現場に関わっている方たちとコミュニケーションを取り、指示を出し、資材の発注をする、といった本格的な仕事をするのは、今回の現場が初めてでした。

### ――不安を感じることはなかったのでしょうか？

菊池 共同企業体の現場所長が、この建物は君に任せたと伝えてくださったので、とにかくがむしゃらになって

仕事をしようと思いました。ただ、正直なところ不安がなかったといったら嘘になります。ちゃんと仕事を終わることができるのか、とプレッシャーも感じましたが、任せられた以上は責任を持って成し遂げなければいけないと考え、やるしかない、と心に決めました。

### ――現場管理にはコミュニケーション能力が必要とされていますが苦手意識を持っている人もいます。

菊池 知識や経験も少なく、現場では年上の方たちが大半といった環境でしたが、品質を保ち工程通りに職人さんと信頼関係を築き上げながら現場を進める。このことを一つの使命だと捉えると、話しかけることが恥ずかしいとか、怒られたらどうしよう、といった感情は自然となくなっていました。

### ――本格的な現場代理人デビューが今回の現場で良かったと、捉えることもできるのでしょうか？

菊池 本当にそう思います。先輩に手取り足取り教えていただいていたら、もしかしたらコミュニケーションにおいても先輩に頼ってしまっていたかもしれません。今回、ハードルの高い現場を経験したことで、仕事を覚えることができ、変な甘えも断ち切れたのだと感じています。

### ――仕事の中で、どのような時にやりがいを感じますか？

菊池 自分が作成した設計図面の通りに最後まで作業工程が進んだ時です。設計図面が正確でないと、その途中で直しを入れなければなりません。それは現場で働いている職人の方たちに大きな迷惑を掛ける行為だと思っています。品質を保ち工程通りに進めるためには、正確かつ丁寧な施工図面の作成が重要になります。ですから、職人さんの目線に立ち、見やすく分かりやすい図面を描いていくことが一つの目標です。